

榎尾中学校区における施設一体型小中一貫校の検討に関するアンケート調査結果

(1) 発送、回答状況

○対象

榎尾中学校区の中学生までの子どもがいる保護者(特認含む)

○実施時期

発送日 平成 30 年 11 月 20 日

回答期限 平成 30 年 11 月 30 日

○アンケートの内容

榎尾中学校の敷地にて、施設一体型の小中一貫校の特認校を新設することについて

1 賛成

2 どちらかと言えば賛成(現状では仕方がない)

3 どちらかと言えば反対(もう少し色々考えたい)

4 反対

5 その他

○回収状況(平成 30 年 12 月 11 日現在)

	送付数	返送数	回収率
横山校区	244	88	36%
南横山校区	43	26	60%
特認	50	19	38%
不明	—	2	—
合計	337	135	40%

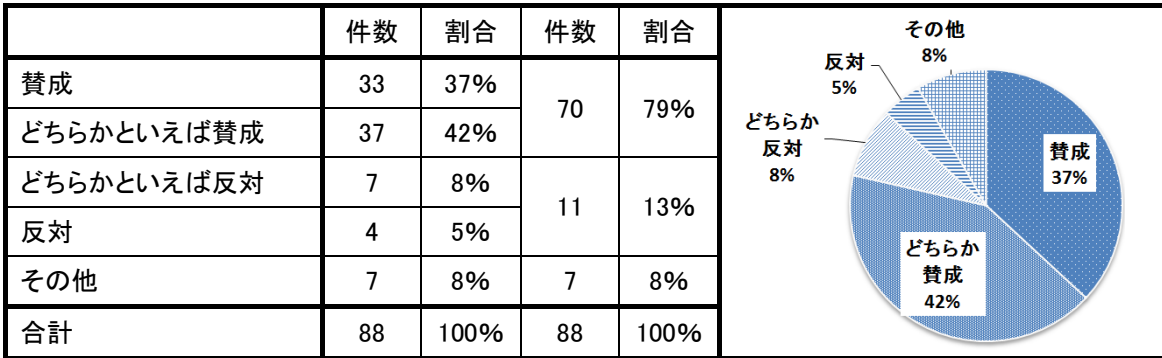
○回答状況(全体)

	件数	割合	件数	割合
賛成	45	33%	102	75%
どちらかといえば賛成	57	42%		
どちらかといえば反対	17	13%	25	19%
反対	8	6%		
その他	8	6%	8	6%
合計	135	100%	135	100%

賛成 33%
 どちらか 42%
 どちらか 13%
 反対 6%
 その他 6%

○回答状況(校区別)

【横山校区】



【南横山校区】



【特認】

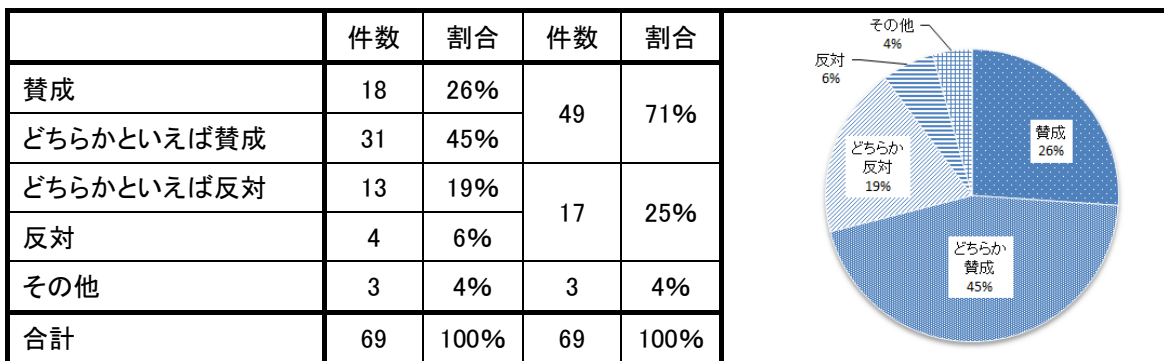


○回答状況(子どもの年齢別)

【就学前の子どものいる世帯】



【小学生の子どものいる世帯】



【中学生の子どものみの世帯】



(2) 記載された意見

【横山校区】

- ・施設一体型小中一貫校とすることで期待される効果を 4 点程上げているが、小、中がバラバラでも十分に育む環境がある。一貫にする事でもっと魅力的な学校にして頂きたい。誰もが行きたいと思える教育現場にして欲しい。
- ・今後も更に子どもの減少が進むと思われるので、現在の榎尾中学校の敷地にこだわらず、隣接する校区からも通学出来る場所に設置するのが望ましいのではと思う。
- ・私立中学校に在学しているため、校区内に居ながらも、この様な議題が上がっている事自体を把握しておらず、意見交換会、説明会に参加しておらず、内容が分かり兼ねる。
- ・全学年で 9 クラスなので、今の横山小学校の敷地が丁度だと思う。無駄に広い敷地はいらない。後々の維持管理が大変だと思う。現榎尾中の敷地は他の施設の方がよいと思う。
- ・南松尾はつが野学園は児童が増える見込みもあるが、榎尾中学校区は児童が減ることはあっても増えることがないと思えるので何とも言えない。
- ・どちらでも良い。市役所の時同様、市民の声は届かないと思うので。中央駅に沢山同じ様な店ができて横山地区にとっては不便が続くだけ。
- ・中学生が小学生に及ぼす影響が気になる。憧れなどいい影響だけではないと思うので不安。人数が少ないというのは、様々な面で視野がせばまったり、活気に欠けるのではと思うので、一貫校にするのであれば、特性を持った教育活動や部活動の活性化にも力を入れて欲しい。
- ・登校時間に合わせて専用のバスを用意するなど登下校の配慮をお願いする。
- ・特認制度によりすぐ特別な学校にして欲しい。
- ・校舎や体育館、プール、グラウンド施設の充実も検討して頂きたい。榎尾校区ならではの自然活動、地域密着型も検討して頂きたい。
- ・特認校制度について検討される 3 つの例はとてもいいと思うので、ぜひ検討して欲しい。小学校では 1 クラスしかないので、2 クラス規模になれば、子ども達にとっても刺激になり、友達も増えるのではと期待する。
- ・在校生の事を一番に考え、特に受験を控えた 3 年生が集中できるようにお願いする。卒業式が仮設というような事にならないようにして欲しい。榎中に新設となると大半の子どもは学校が遠くなり、小学生が通うにはあまりにも距離があるので、スクールバスなどは検討して欲しい。
- ・工事中榎尾中学校は使えるのか。中学生は工事中どこで勉強するのか。
- ・子どもにいじめがあった時にどう対応してくれるのかが心配。中学生になっても同じ子と離れる事がないので。クラス替え等が何度かあれば別だが。
- ・横小・榎中ともに母校なので愛着もあるが、耐震などの事も考え、建替えをするなら小中一貫校にすべきだと思う。ただ、どの保護者の気になっているのは、通学中の安全や工事中の勉強、教育内容・中身で、例えば、善正、南面利方面からバス通学すると、横山高校前で降りて、旧 170 号を歩くことになる。対策などを検討することがたくさんあると思うので、そのようなことに時間を費やして欲しい。横小には北田中駐在所があるが、榎中になると不安面もある。交通面でも送迎時は榎中バス停の所が混乱すると思われるので、スムーズに開校でき、みんなが小中一貫校にして良かったと思えるような学校にしていけたらいいと思う。
- ・一貫校になることで期待される効果や特認校制度については、子どもにとって良い環境になるのではと期待する。ただ、通学のためのバスの配置や、校庭の使い方などこれから検討されることも多く、現時点では何とも言えない状況。子どもの教育内容が充実されるのであれば賛成する。

- ・色んな事で思いやり、心使い、目上の人達への言葉使い行動も勉強になると思う。横小に関しては、子ども達が遊べる場所、運動出来る様に願う。市民プールとして活用して欲しい。
- ・和泉市全域の就学校区について、考え直す時期ではないのか。その場しのぎ的な人数合わせではなく、抜本的な改革、見直しにより子どもの増加を図るべき。
- ・小・中と通学場所が9年間同じというのは親も安心する。校舎も新しくなれば、子ども達も嬉しいと思う。
- ・小学生、中学生の間に小中一貫校になった場合、制服等は新調しないといけないのか。
- ・小中一貫のメリットだけが示されている。デメリットを示した上で、アンケートを取るべきではないか。デメリットとして思うのは、中学生の不良がいたとして、まねして小学生が悪くならないかなど。
- ・校区内の子どもの数の減少により、これからの学校運営の方向性としては、小中一貫校というのも良いのかもしれない。ただ、この地域に住むこれから小中学校に通う子どもを持つ保護者が小中一貫校のデメリットをどこまで受け入れ、その上で前向きに一貫校への入学を希望されたい方の声は何より重要かと思う。
- ・校区を考えると、それぞれの校区内に学校がある事が適切であると思う。どうしても小中一貫が望ましいのであれば、しっかり検討していただき、市が責任を持って開校へ、又開校後も学校に任せず市教委とともに進めて欲しい。
- ・まず、行政が、生徒数の増加、子育て世帯の増加を目指すことが必要と考える。持続可能なコミュニティをどう形成していくかが重要。
- ・工事中での中学生での学校生活は、不自由なく過ごさせてあげて欲しい。通学が遠くなる方もいると思うので、防犯灯・カメラなどの設置。
- ・教育の質を求めると、ある程度の子ども的人数が必要であり、自分自身と異なる年齢の子どもとふれあえるチャンスが多くなるので、小中一貫校には賛成。早急に具体案を明確化して、どんどん進めて欲しい。
- ・開校について、もっと早急に進める様に検討する必要あり。通学交通についてもっと便利良く考える必要がある。又、はつが野の現状の意見等を参考に、どうすればもっと内容が良いか(はつが野のアンケートを取るなど参考に)対策の実行を考えて欲しい。
- ・H36開校時期なので、今現在、小4、小6の保護者である我家は正直、恩恵にあずかれず、逆の中3、進学時に工事にあたるため騒音などに悩まされない様、時期(特に受験時を外すなど)を考えて進めて頂きたい。
- ・特認校としての特色を充分に発揮して、人気のある学校にしていきたい。プログラミングや外国語、クラブ活動等で魅力に感じてもらえると他校区からの通学が期待される。また、横山校区から他校区の中学校に通う事も許されれば、中学校間の競争も生まれ教育が充実する事でいじめ等で不登校になった生徒の選択肢も広がるように思う。
- ・今後は減少して200名以下の学校となると思われるので、負担の少ない教育行政を行っていただくようお願いする。
- ・勉強面、生活面で先生方が子ども達をすべて見られるとは思わない。人数が増えるとケアが必要な子ども達が増えると思う。勉強も大切だが、ケア面も必要だと思っているので、確実に答えがわかる形を取って頂きたい。
- ・現在、小学校へバスで通っている。(善正～北田中)新設されたらバス通学はどうなるのかが気になる。
- ・現在は公立幼稚園(横山幼稚園)が閉園した状態だが、小中一貫校と共に同敷地内に新たに併設して頂けたら、長期的により良い教育環境が実現すると思う。
- ・子どもの事、安全を第一に考えて頂きたい。

- ・施設一体型の小中一貫校にすることは仕方がないのかなと思うが、特認校にしなければならないのか。この槇尾中学校区をもっと人が住みやすい、住みたくなるような環境にして、離れて行った人が戻りやすい、また、他の地域から引越して来たくなるような家をすんなりと建てることのできるような(調整区域なので手続きが大変)街づくりをすることが大切でないかと思う。
- ・制服と給食はあってほしい。
- ・今回の一貫校については、途中でまた元に戻すような事がない長期的な教育体制をしてほしい。まずは、生徒にとって、良い環境で教育を受けられる事を第一に考えて欲しい。
- ・小中一貫校になって、1学年は何クラスになるのか。1学年1クラス、しかも10人程度なら子どもを通わせるのは少し考えてしまう。
- ・小学生が横断歩道 170 号線上を通ることになるが、歩道橋ができるのか。運動会は小中が一緒に行うのか。
- ・今の南横山小学校は、特認校の意味を成していない。南横山小学校から槇尾中に来て子ども親に問題があればやはり浮いている。南横山小学校も閉鎖して横山の小中一貫校に組み込むべきである。
- ・子どもにとって大事な時期に大きな工事に当たってしまうことが残念。色々配慮して頂きストレスにならない様、学力にも支障が無い様願います。
- ・どうしても上の人の意見で進められることが多いので、実際に子どもを持つ親の声をきちんと吸い上げてほしい。言った(案内した)けど、何も返事がないので、賛成という方向で進めて欲しくない。
- ・小中一貫教育をするならば、他の校区同様現在のスタイルでも可能と思われる。新たな施設設置の予算があるならば、それを現場教員の増員や槇尾中学校体育館の雨漏りの修繕等に使うことこそ未来を担う子ども達に還元できると思われる。
- ・アンケートの結果、意見や要望がいかによいように生かされるかは今の段階では明確ではないが、実際に通うのは子ども達。子ども達の意見も取り入れてあげることも必要。建設の時に在学する子ども達の安全や授業に支障のないように心掛けて欲しい。
- ・現在使っている学校ではムリだと思うが、新しく作って本当に子ども達が来るのか。アンケートなりして人数確保できるのであれば新設も分かるが。
- ・意見や要望を聞くのも大事だと思うが、早くどうするのか決定して欲しい。
- ・校区に子どもが少ないからこそ、この横山からどんどん新しいことを打ち出し挑戦していくべき。施設一体型は全国的に増えてきているのでそれ以上の進化を考えるべき。自然豊かなどでだけを言っていてはおそい。市内からそれぞれの校区になじみにくい生徒をあつめている場合ではない。
- ・現状で横山、南横山が一緒になっても少人数なので、南松尾はつが野学園と一緒になった方がいいと思う。
- ・今1年生の親としてはするなら早急に進めて欲しい。中学3年時の受験時に移行となる年の子は大変だと思う。

【南横山校区】

- ・南松尾はつが野学園の見学に行き、とても良い印象を受けた。槇尾中学校区も同じようになれば子ども達にも良い環境を与えられると思う。特にこの校区は人数が少ないのでとても良いことだと思う。大賛成。
- ・子ども達が登校しやすい場所や方法を考えて欲しい。
- ・家までバスが来て欲しい。
- ・中学校にもスクールバスを出していただければ通い続ける事ができる。

- ・南横山小学校の良さが失われることが心配。「教育」はとても大切な事なので、現状以下にならない様もっと良い学校となる様、慎重に願います。
- ・挨拶の絶えない中学校であって欲しい。
- ・通学手段のバスは路線バスではなく専用のバスを設けて欲しい。
- ・一部の意見でいくら反対しても、市としてここまでビジョンが出来ているなら今さら中止されることはないのだろうとあきらめている。ならばせめて、うんと話題になるような他市からも注目されるような学校にして頂きたい。地元の通学に公共バスを使う予定のようだが、一般のどんな人が同乗しているかわからないバスは低学年の保護者は心配だと思ふ。テレビで電気自動車のバスを見たが、低価格のようなので、検討して頂きたい。
- ・小学校の6年間をずっと1クラス同じクラスで過ごさせるより、2クラスや年上、年下の大人数の子どもの中で過ごした方が、高校に入った時に対人関係で困る事が少なくなるのではないかと思ふ。南横は地元の子もがいなくて、他の地域の子も通わせてまで残す意味があるのかとさえ思ふ。子どもには同じ地域の同級生を作ってあげたい。小中一貫校ができないのであれば、私達にも小学校の選択の自由を与えていただきたい。他の地域の子も達は選択できるのに、なぜ南横、横山だけ学校の選択ができないのか。逆にバスを出して、はつが野に入れてほしいとさえ思ふ。地元の保護者の声を聞いて欲しい。
- ・南横山小学校は特認校として残して欲しい。

【特認】

- ・1クラス20人まで。「大人数の中の孤独」が生まれず、皆が知っている学校にして頂きたい。省エネ、合理性だけでなく、又は特性や出来る人を育てることではなく、人として大切な愛着心や愛する心を育める環境ができたなら願う。20、30、40年後にさらに住みやすい和泉市となるよう願う。
- ・小中一貫校にするメリット・デメリットはあると思ふが、時代とともに変化もしたくないのかと思ふ。ただ、特認としては、特認の良い所(バスでの通学、特色を持った学習ができる等)はぜひ残して頂き、後に入学する子ども達にも良い体験をさせて頂きたい。
- ・南池田小学校、青葉はつが野小学校、南松尾はつが野学園、光明台北小学校、光明台南小学校、とても近いところに建っているのでは。人口密度の高い都市ならまだしも、URの土地開発で子どもが増えるのは一時的なもの。校区をなくして自由に通えるようにするなど、もっとフレキシブルな対策が必要ではないのか。
- ・自然と触れ合う機会を減らさないで欲しい。南横山の特色は残して欲しい。ノーカバンデー、果物狩り、校区探検、川遊びなどたくさん素敵な子どもにとってかけがえのない体験ができる学校であり続けて欲しい。
- ・校舎や体育館の改修工事というだけで大きく学校生活に支障を来すことになるが、期間は半年～位だが、新築工事となれば数年かかる。その間の在校生が犠牲になることは反対。
- ・南横山小学校は先生、PTA、地域が一体化して地理や気候においても和泉市内でも貴重で特別な学校と思っている。小学校がなくなれば過疎化が進み地域が衰退するのではないかと思ふ。小中一貫校のサテライトスクールとしてでも残すべきと思ふ。
- ・南横山小のいい部分を残して頂きたい。
- ・1クラス20人まで全学年で120人という小規模という制度に、とっても共感する。予算や先生の確保など、難しい部分もあるとは思ふが、南横の環境や小規模校の良さが小中一貫校で受けられなくなるのかという不安や、思いはずっとある。本当に良い学校なので、出来る限り残して頂きたい。

- ・横山小学校、槇尾中学校ともそれぞれに特色があり、良いところにもあるかとは思いますが、特認制度を導入してまで南横山小学校を存続させてきた意味を今一度考えていただきたい。これからの時代は、知識を詰め込むだけでなく、実施に体験しそこから得たものを発信したり、行動に移す力が必要になると思う。南横山小学校は少人数が故に子ども達が自分自身で考え、話し合い、決定していく場面が多く、学年を超えた縦割り活動も多いので、責任感や協力し合う姿勢も自然と身に付いていくと思う。このような教育は失くしてはならないと思う。子ども達の将来を見据えた判断をお願いします。
- ・南横山小を学習、文化施設として使用してもらいたい。工事の子ども達への影響を最小限にして欲しい。

「反対」、「どちらかといえば反対」の理由

【横山校区】

- ・工事期間中に在籍となる生徒達のことを心配。仮設のプレハブ校舎で過ごすことになったりするのかわ、工事の騒音で勉強に集中できるのかわ、運動場や体育館が工事の為、体育やクラブ活動ができるのかなど気がかり。新しくどこかに建設ならその心配がないのにと思う。
- ・場所が悪い。
- ・中学生になれば自転車通学できるが、小学生の間はバス通学。中学校の場所までの直通のバスがないのが不便。スクールバス等出していただけなのか。そうでなければ自家用車で送迎しないとイケない。
- ・今のままで小学校はのんびり、ゆっくり、のびのびと地域にあった進め方でいいと思う。中学校でお互いの小学生と一緒に生活を送るのでこのままでいいと思う。
- ・歴史ある学校が次々となくなっていくのはつらい。時代の流れとは言え、方法はないものか。
- ・説明会の際に先生の負担がかなり大きいとの事も聞き、生徒の教育から考えると、質の低下の可能性があるのではないと思われるので、それがクリア出来れば、どちらかと言えば賛成と考えている。
- ・歴史のある学校がなくなるのはさみしいが、仕方はないと思う。新しい小中一貫校ではかなり大きいグラウンドが必要。今の南松尾はつが野学園の運動場では狭すぎてクラブが充分にはできない。
- ・4年生の長男が中学3年生の受験の大事な時期に色々重なるようなので大変心配である。南松尾はつが野学園があまり良いうわさを聞かないので。
- ・小学6年時で最高学年を経験するという教育的意義が失われる。特認校制度について、現在利用の方々が南横山校区の環境だから利用されているかもしれないことを考慮すると、その意義も損なわれる。また、現在の横山校区の地域の方々に特認校制度の認可を求める必要がある。(当時の南横山のように)外部の部活動の指導員の登用について、教師でさえ現在教員免許更新の時代、指導員の方々が本質的に学校教育を理解して教育して下さるのか信用しがたい。
- ・槇尾中学校敷地に新設をしたとして子どもは来るのか。横山校区には何も無いのに若い人が家を建てたいとは思わない。こちらからバスでも出して違う学校に行くほうがいいのではないかとと思う。

【南横山校区】

- ・児童の通学方法についての提案に不服あり。新設校の児童数確保の「頼みの綱」が特認校制度という事。将来的に維持していくためのビジョンが不明確。各学年約30人(全体で約270人)を確保し続けられるのか。
- ・槇中の敷地では広さが不十分では。どの様な学校ができるかわからないので賛成とは言えない。
- ・各校区の特性を活かして欲しい。

- ・現在指導や支援下さっている地元の方々(農園、笹踊り、炭焼き、イチゴ狩、みかん狩等)は、児童数が増えたり、校区に小学校がなくなると協力は得られなくなると思う。本校の特色として、他校にも自慢できる行事は大幅に減ると思う。一貫校になった後も、南横山小の跡地で教育活動をするように検討すると言われたが、跡地の維持管理費用が必要だと考えると、暫くするとだんだんなくなるのではないかと不安である。
- ・子どもがのびのびと勉強できる所は、ここしかないのが良い。南横山小学校の学びはどこの小学校にもない事を学べる所。

【特認】

- ・教育委員会は何のために特認制度を始められたのか。なぜその特色を続けることをやめ、小中一貫に切り替えているのかがよくわからない。30人クラスは少人数とはいえない。20人以上とならないよう確約して頂きたい。
- ・今後益々子どもの数が減ることはわかっていると思う。これは、槇尾中学校区だけの問題ではなく、将来を見据えて、校区自体を再編する必要があるのではないか。地元に残すために目先のメリットだけで結論を出すことをやめて欲しい。大きな建物を建てるお金、その後の管理費は結果的に子どもの負担になる。
- ・施設一体型小中一貫校を作るメリットというが、工事期間中の中学生が犠牲となるデメリットが大きい。「南松尾はつが野学園のような」というのであれば、新しい場所に建設し、開校前の子ども達の学校生活を考えて欲しい。
- ・南横山小学校に通学できることが特認の魅力であると考えている。槇尾中学校敷地での一体化は敷地面積上は仕方ないのは理解できるが、父鬼大野地域の歴史を伝承する為にも反対である。
- ・南横山小学校の父鬼の環境で学ぶ事は子どもにとってかけがえのないものだと思う。違う場所になると特色がなくなると思う。地元の方との関わりも伝統として引きついでいきたい。
- ・静かな山の中にあるという環境は他にはない素晴らしい環境だと思う。地域の人々の自由な行き来があり子ども達を先生や保護者とは又違う目で見られる事は、いろんな意味での要で、小中一貫校でも地域、先生、保護者、子どものコミュニケーションがこれほど密接にいくとは考えにくい。
- ・少子化による施策だと理解はできるが、学校林をはじめとする恵まれた自然や少人数ならではの人との関わり(児童同士や先生・地域の方々との関わり)に魅力を感じて特認を選択したので、できれば現状の制度を維持していただきたい。
- ・現時点では、中学校への通学方法が限られている。小学校ではバスがあるのに中学へはない。安心して通学できると一貫校に向けて早い段階から一緒に通学できる方法にして、子ども達、保護者に抵抗なく受け入れられるような仕組みにしてもらいたい。